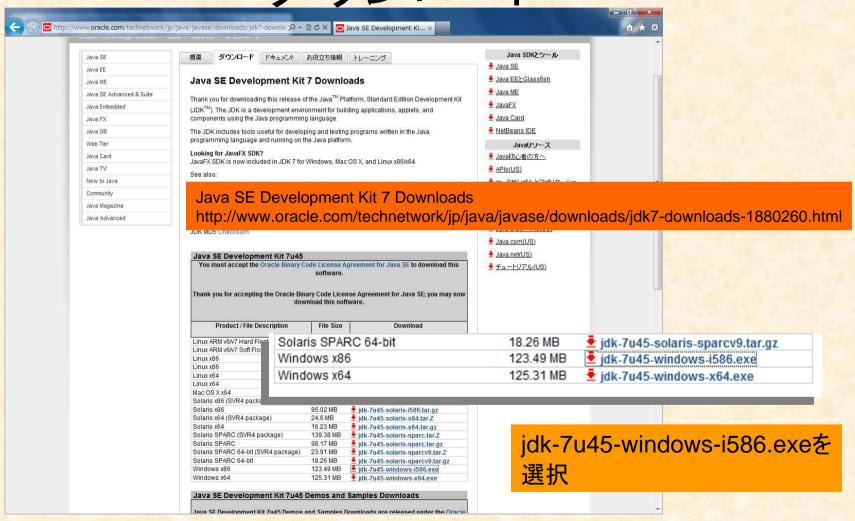
関西IT勉強宴会(mini) 2013-10-31

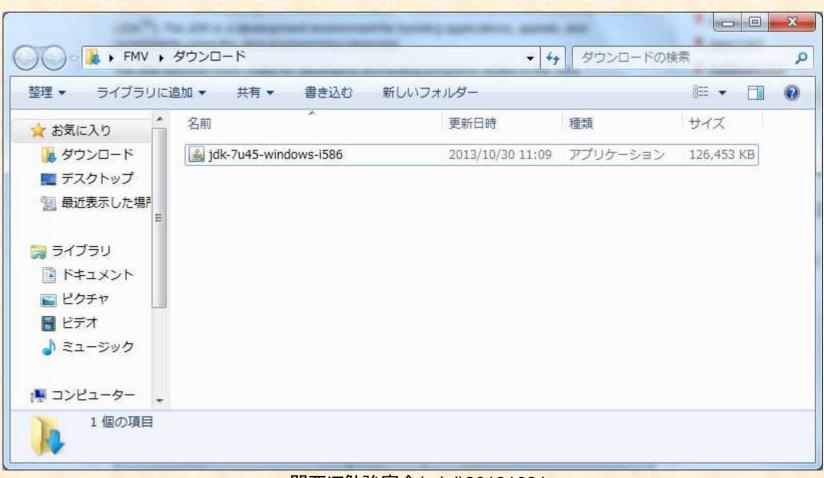
## 概要

- OS: Windows 7 professional 32bit版
- Java SE Development Kit 7のダウンロード とインストール
- XEAD Driverのダウンロードとインストール
- StartDatabase.batの修正
- DB開始ショートカットの設定

# Java SE Development Kit 7の ダウンロード



# ダウンロード完了



## Javaセットアップ 1





# Javaセットアップ 2



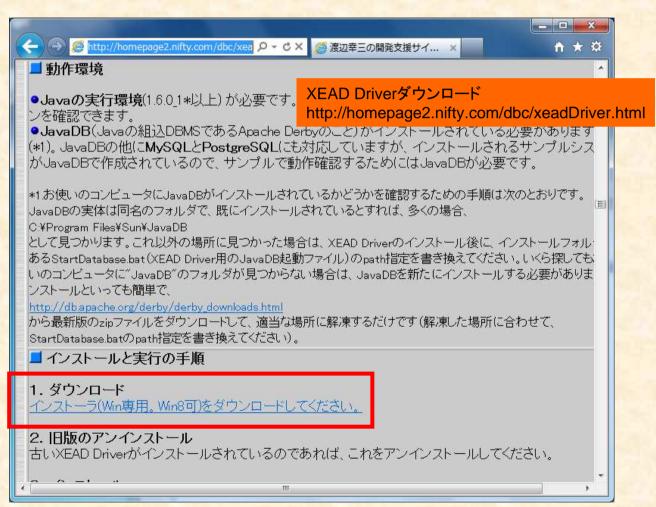


## Javaセットアップ 3

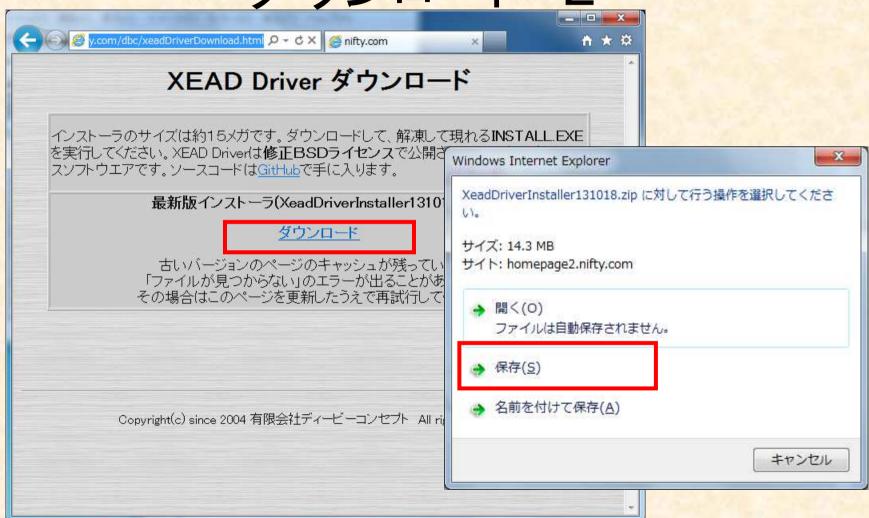




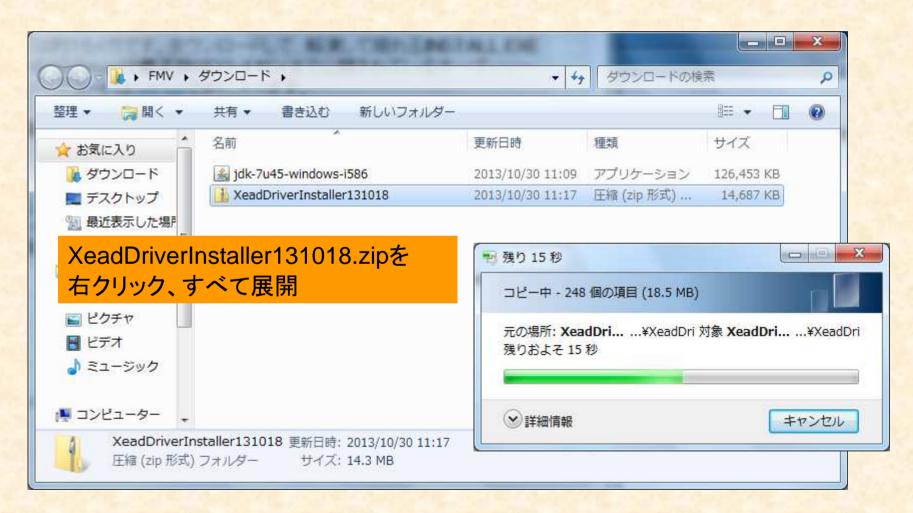
# XEAD Driverの ダウンロード 1



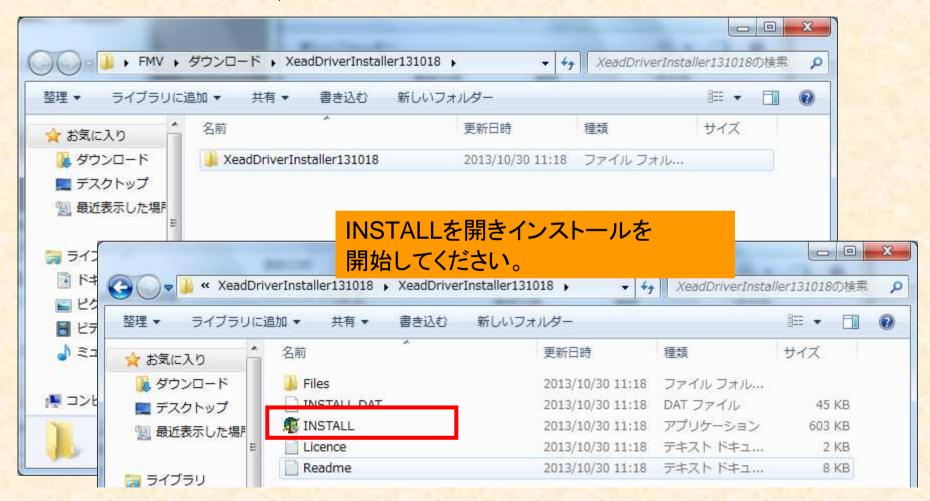
# XEAD Driverの ダウンロード 2

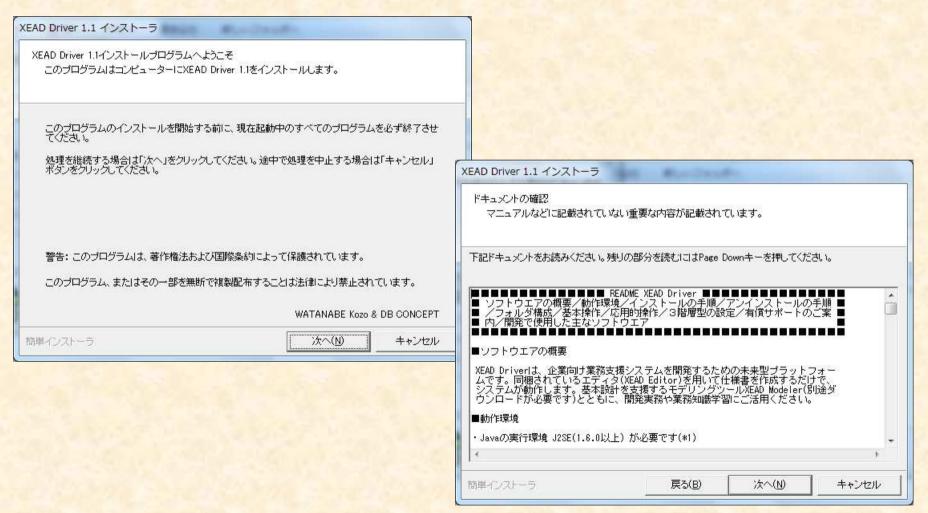


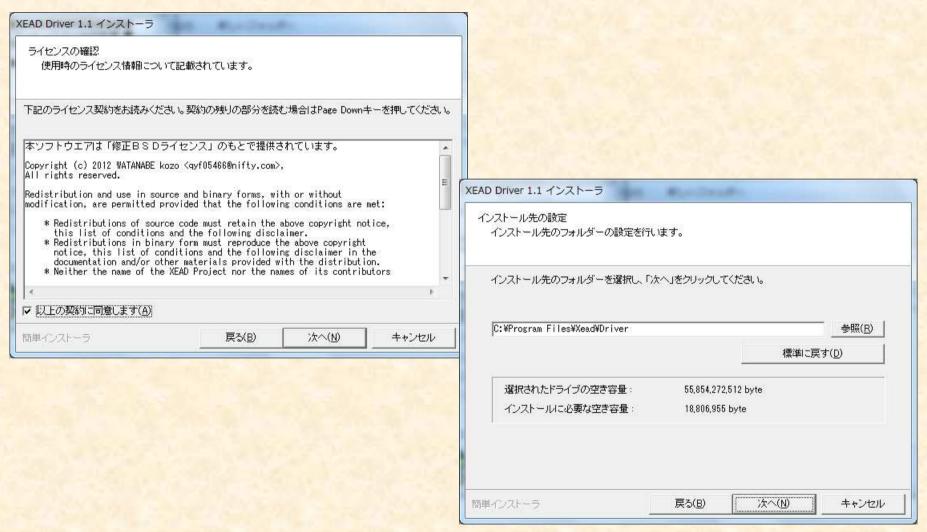
# ダウンロード完了



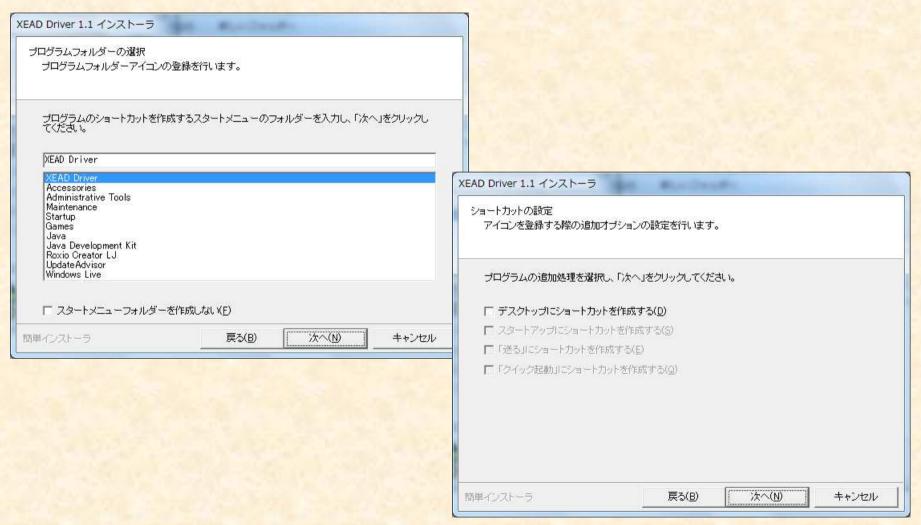
## 展開したファイル







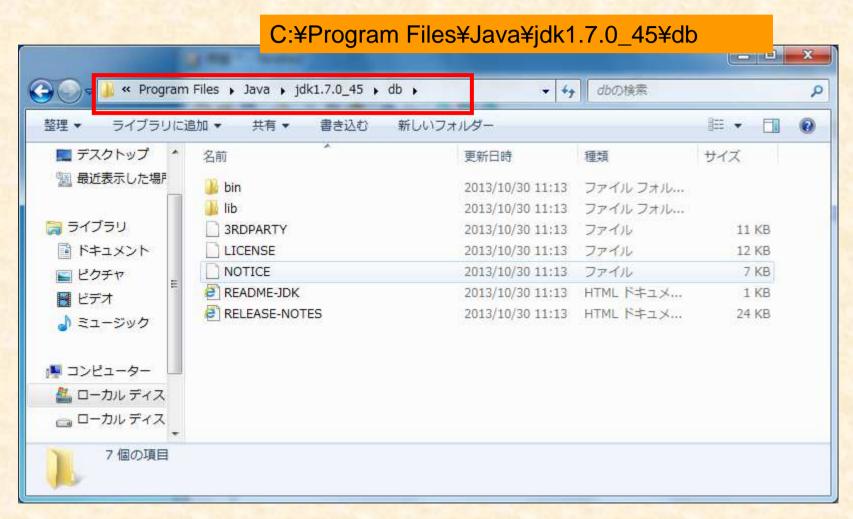




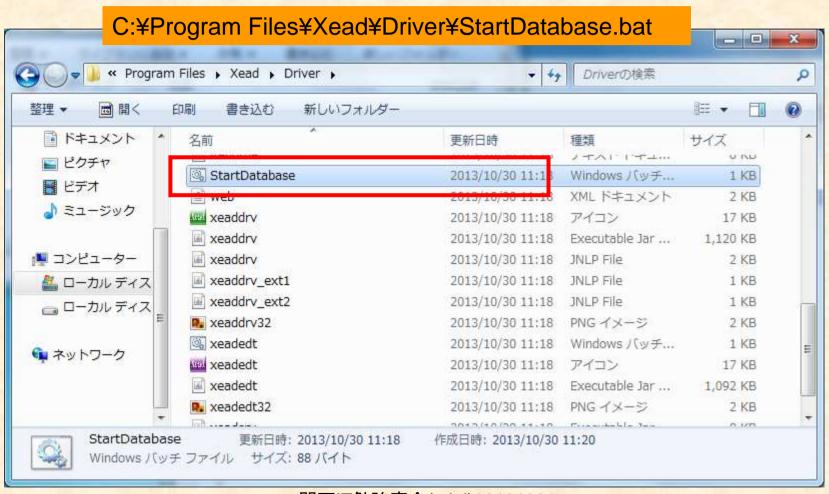




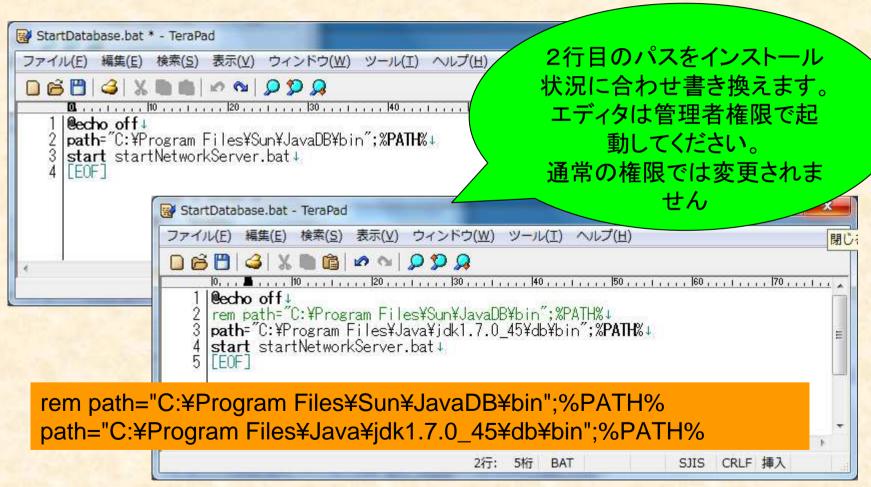
## JavaDBのインストールパス確認



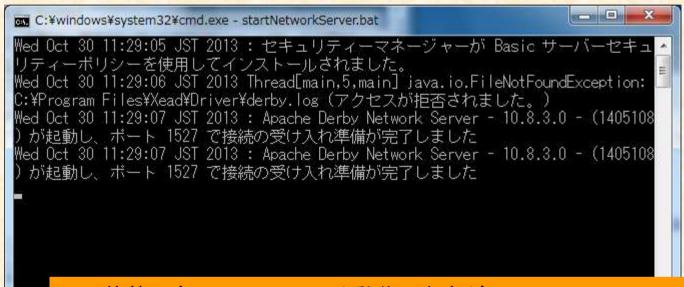
## XEAD Driverの StartDatabase.bat修正 1



## XEAD Driverの StartDatabase.bat修正 2



## テスト起動



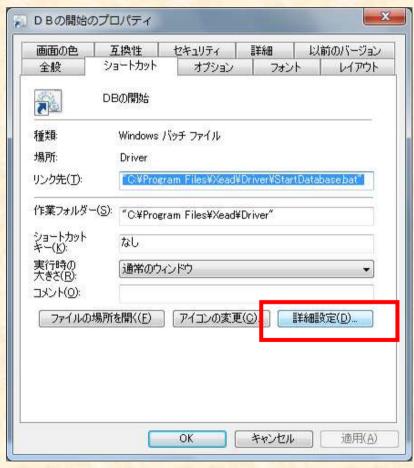
この状態でもXEAD Driverは動作しますが、 アクセス権限が適切に設定されていないので、(アクセスが拒否されました。) とメッセージが出ます。

起動を確認したらコマンドプロンプト画面を閉じてください。

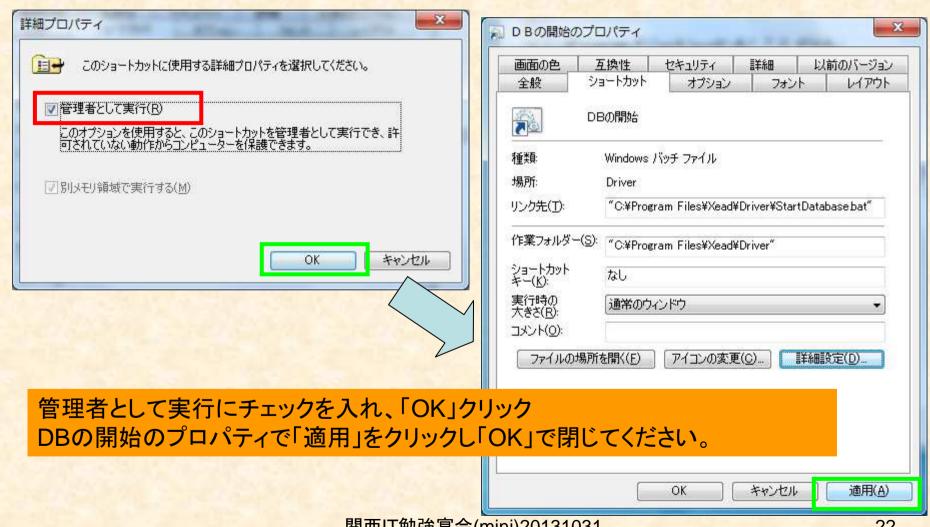
## DBの開始へ権限付与

スタートメニューから、XEAD Driver → DBの開始をポイントし 右クリックで プロパティをクリックしてください。



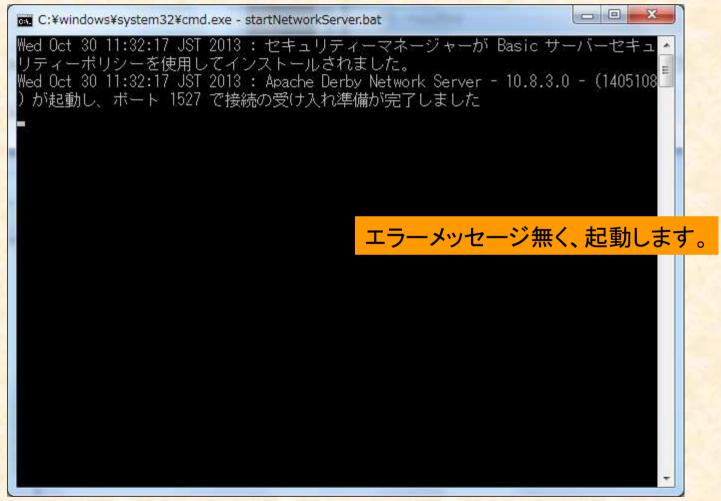


## 管理者として実行



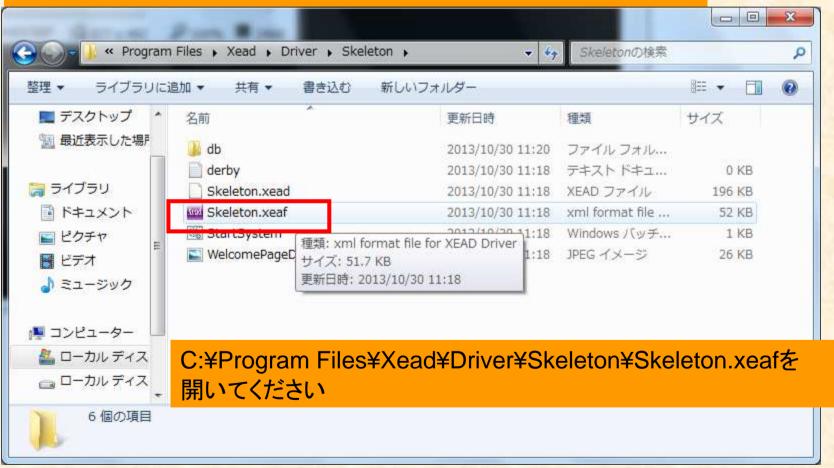
#### JavaDB起動

スタートメニューから、XEAD Driver  $\rightarrow$  DBの開始をクリックしてください。

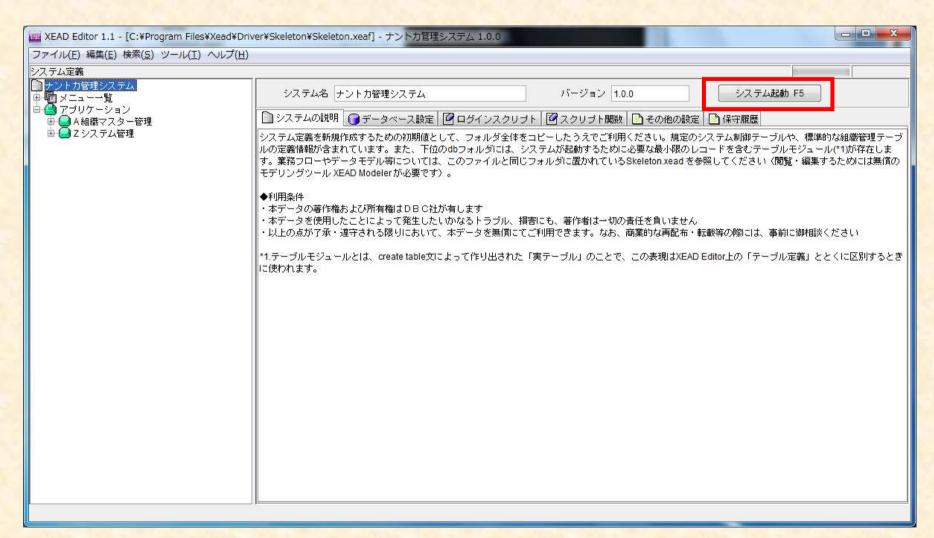


#### XEAD Editorの起動 1

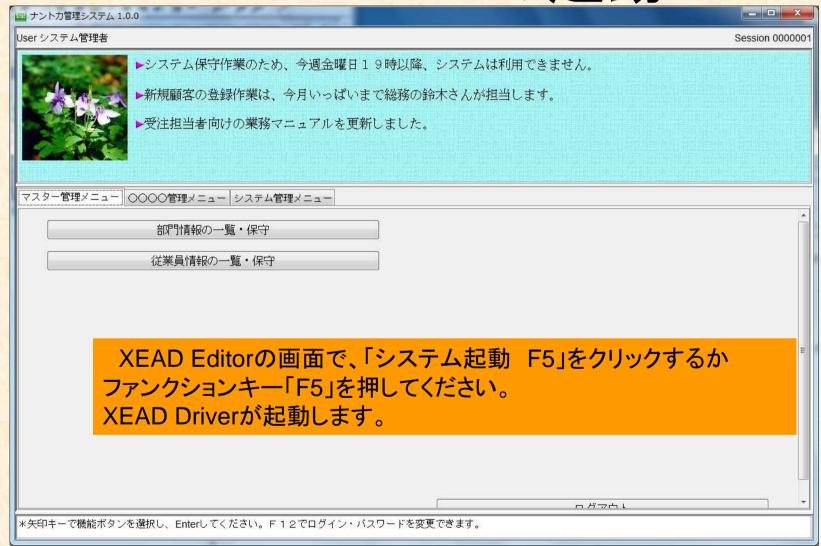
Skeletonは、システム構築のひな形となります。起動する前にフォルダごとコピーしておくことをおすすめします。



#### XEAD Editorの起動 2



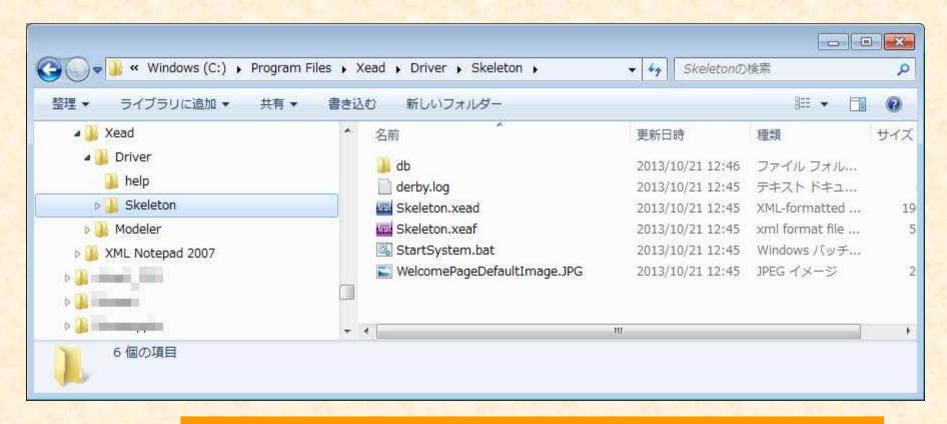
#### XEAD Driverの起動



# メインDBの確認

ステム定義	() ~ぱ(H)
→ ナント力管理システム 田	システム名 ナントカ管理システム バージョン 1.0.0 システム起動 F5
	□システムの説明 □データベース設定 □ログインスクリプト □スクリプト関数 □ その他の設定 □ 保守履歴
	メインDB jdbc:derby://localhost/ <current>\db</current>
	ユーザ XEAD パスワード XEAD V Editor起動時にDB接続する
	DBメソッドURL *None
	システム変数 ZT010 ユーザ情報 ZT020 採番テーブル ZT030 ユーザ定義区分 ZT040
	セッション ZT050 セッション明細 ZT051 消費税 ZT060 休日テーブル ZT070
	年次為替レート ZT080 月次為替レート ZT081
	NO. サブDB (読取専用) 摘要
	T.D. ##→DB
YEAR	) Editorの画面で   データベース設定   タフを選出
	D Editorの画面で、「データベース設定」タブを選択し、
	D Editorの画面で、「データベース設定」タフを選択し、 DBを確認してください。

#### JavaDBの場所



Skeletonシステムが参照している、JavaDBの場所は「C:\Program Files\Xead\Driver\Skeleton\dot\dot\dot\dot\structure |